

～名所旧跡を巡って～
歴史スポットからひも解く

テーマ：現地探訪 佐紀盾列古墳群

講師：若井敏明先生

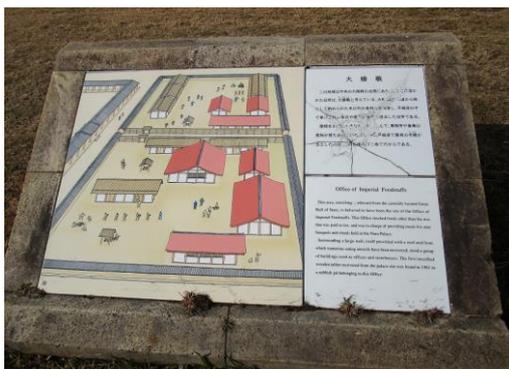
日時：1月12日（金）10：00～13：30

大和三大古墳群の一つ佐紀盾列古墳群東部に位置する市庭古墳・コナベ古墳・ウワナベ古墳・ヒシアゲ古墳を探索しました。

太古の昔、集合場所近鉄西大寺駅近くに西大寺に次ぐ格式を誇った西隆寺（尼寺）がありました。塔跡は都市開発により地中に埋め戻されるとか。古代が遠くなります。



秋篠川を渡り二条町を経て平城宮北東部へ 現在の大極殿を横見し
大膳職跡で、その広さと当時の官吏の多さにビックリ。



平城京を愛し平城京復都を希望し続けた平城天皇陵（市庭古墳）に参拝しました。奈良帝とも云われ、官司の改革に取り組む反面、詩文にも長けていたが、側近の陰謀により事件に巻き込まれ病気を理由に退位されたとの事です。



この古墳は奈良時代以前から存在し、本来の被葬者は別人の可能性があると云われています。

又、藤原京と同じく平城宮も三山に囲まれているとの説があります。即ち、耳成山は平城天皇陵・畝傍山は菅原古墳（垂仁天皇陵）・香具山は開花天皇陵です。今後の研究がなされる事を祈り、楽しみが増します。

佐紀町からヒシアゲ古墳・コナベ古墳・ウワナベ古墳へ



ヒシアゲ古墳



コナベ古墳



ウワナベ古墳

二重の濠を持つ仁徳天皇皇后磐之媛陵（ヒシアゲ古墳）では4名の后妃、2名の皇后が居たと云われる中で、愛情を貫き、我慢した磐之媛皇后に感動し参拝しました。

美しい水面を醸し出す周濠に囲まれたコナベ古墳（磐之媛埋葬地）・ウワナベ古墳（被葬者は不明で、磐之媛に近い人と云われている様です）の周りを探索しました。

何れの古墳も磐之媛関連治定地で三名の天皇（履中・反正・允恭）を世に残した功績の大きさと古代の英雄・葛城襲津彦の子・武内宿祢の孫として、夫への愛情の中にも時として現れるプライドの高さ、気の強さ等は育ちの良いお嬢さんそのものと微笑ましく感じています。

お疲れさまデシ

前日までの寒さは何処へ行ったのか、ポカポカと暖かく素晴らしいウォーキング日より、全員が10,000歩以上の大健闘でした。素浪人だけが遅れ気味でゴメン。解散後は例の如くビールで乾杯、お魚も美味しかった。

（記事：歴史大好き素浪人）